

令和5年度の特別会計決算の総括表 (単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	84億1,887	84億1,791	96
後期高齢者医療	22億6,521	22億6,355	166
介護保険	108億6,151	107億7,193	8,958
公設地方卸売市場事業	4,284	3,859	425
産業団地事業	7億 718	6億4,851	5,867
合 計	222億9,562	221億4,048	1億5,514

特別会計の決算

特別会計とは、特定の目的のために保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計です。お金の出し入れをはっきりさせるため、一般会計とは別に管理しています。

本市には▼国民健康保険▼後期高齢者医療▼介護保険▼公設地方卸売市場事業▼産業団地事業―の五つの特別会計があり、それぞれの会計で決算が行われています。

コロナ対策・物価高騰対策経費

■21億3014万円で対策を行いました

感染症の予防や感染症の影響を受けている市民などに対する支援に加え、物価高騰対策に早急に取り組む必要があったことから、数回にわたり補正予算を編成して対応しました。

その結果、令和5年度にコロナ対策・物価高騰対策として使われたお金は21億3014万円、そのうち市の一般財源は3億611万円で、残りは国や県の補助金などを活用しました。

コロナ対策としては、ワクチン接種や勤労者への資金貸し付けなどの支援、社会福祉法人などの施設整備経費に対する補助、児童福祉施設の物品購入などの支援を行いました。

物価高騰対策としては、非課税世帯や低所得の子育て世帯などに給付金を給付したほか、中小企業や貨物運送事業者、畜産農家、タクシー・乗合バス事業者、貸切バス事業者などの事業継続支援などを行いました。

(単位:万円)

区分	事業名	決算額	内容
コロナ対策	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億9,613	新型コロナウイルスワクチンの接種を行いました。
	勤労者福祉向上事業	51	新型コロナウイルス流行時の令和2年度に教育資金の貸し付けを受けた勤労者に対し、返済に係る利子の支援を行いました。
	高齢者福祉サービス基盤整備事業	820	高齢者福祉施設における感染拡大防止対策のため、多床室の個室化改修や簡易陰圧装置の設置に係る経費を支援しました。
	児童福祉施設等感染拡大防止事業	360	児童福祉施設(保育園など)での感染防止対策を推進するため、マスクやゴム手袋などの感染防止用物品の購入に対し補助しました。
	感染症予防緊急対策事業	116	消毒用アルコールや抗原検査キットを確保し、感染拡大の防止を図りました。
	失業者支援事業	20(20)	失業した人の生活を支援するため、見舞金を給付しました。
物価高騰対策	価格高騰緊急支援給付金給付事業	10億5,248	物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯などに対し、給付金を給付しました。(1世帯あたり最大10万円)
	中小企業持続支援事業	4億3,178(1億6,538)	市内事業者の事業継続を図るため、キャッシュレス決済「PayPay」のポイント付与キャンペーンを行いました。また、貨物運送事業者への運行支援緊急対策交付金の給付や、中小企業の地代・家賃補助などを実施しました。
	修学児童・生徒世帯生活応援事業	6,816	高校入学および大学進学などに伴う支援金を給付しました。(高校3万円、大学など5万円)
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	5,030	低所得の子育て世帯などに対し、給付金を給付しました。(児童1人あたり5万円)
	飼料購入緊急支援事業	4,917(1,074)	畜産農家に対し、配合飼料および乾牧草の購入費用の一部を支援しました。
	公共交通事業者緊急対策事業	1,894	タクシー・乗合バス事業者に対し、運行支援緊急対策交付金を給付しました。
	農業資材等高騰緊急対策事業	390(390)	園芸作物を生産している農業経営体に対し、肥料の購入経費を支援しました。
	花巻米生産緊急支援事業	8,606(8,606)	主食用米などの生産者に対し、出荷に必要な肥料や種子などの生産に係る経費を支援しました。
	公共交通確保対策事業	1,623	市内を運行する路線バス車両への交通系ICカードシステム導入に係る経費を支援しました。
	ごみ処理事業	844	一般廃棄物収集運搬許可事業者に対し、燃料費高騰対策支援金を給付しました。
	保育施設等物価高騰対策事業	813	私立保育園などに対し、食費・光熱費の支援金を給付しました。
	観光・物産事業者等緊急対策事業	1,337(665)	貸切バス事業者に対し、燃料費高騰対策支援金を給付したほか、市内温泉宿泊施設などを利用した際の料金を助成しました。
	その他	1,338	県の補助事業の対象とならない社会福祉施設などに支援金を給付したほか、私立高校に対する県事業の上乗せ補助などを行いました。

※決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です

国民健康保険

加入者が納める国民健康保険税や県からの交付金などを主な財源として、医療給付や特定健康診査などの保健事業を実施し、生活習慣病の予防や早期治療などに取り組みました。

後期高齢者医療

後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました。(事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています)

介護保険

介護保険料や国・県・市の負担金などを主な財源として、介護給付や介護予防の支援、地域における日常生活の支援体制づくりなどに取り組みました。

公設地方卸売市場事業

施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。

産業団地事業

一般会計からの繰入金を主な財源として、造成工事および上下水

道工事に着手したほか、基本設計や埋蔵文化財試掘調査、各種測量調査などを行いました。

公営企業会計(下水道事業)の決算

公営企業会計とは、特別会計の中でも複式簿記により経理を行う会計で、本市では、下水道事業がこれに該当。▼公共下水道事業▼農業集落排水事業▼戸別浄化槽事業―を一体的に管理しています。

公共下水道事業

下水道使用料と一般会計からの負担金を主な財源として、公共下水道の維持管理を行いました。また、国庫補助金や企業債などを主な財源として、施設の長寿命化を行いました。

長寿命化対策については、「花巻市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、大迫浄化センターの電気設備の改築更新を実施するとともに、老朽化したマンホール

ポンプの更新を行いました。

農業集落排水事業

農業集落排水施設使用料と一般

令和5年度の公営企業会計決算の状況 (単位:万円)

項目		公共下水道	農業集落排水	戸別浄化槽
収益的収支(税抜き)	収入	23億3,453	9億 538	1億8,361
	支出	22億6,151	8億7,901	1億8,407
	純利益	7,302	2,637	△46
資本的収支(税込み)	収入	12億 536	7億2,636	905
	支出	22億 925	10億5,827	3,492
	不足分	10億 389	3億3,191	2,587

※不足分は、当年度分の留保資金などから補てん

会計からの負担金を主な財源として、農業集落排水施設の維持管理を行いました。また、県補助金や企業債を主な財源として、施設の長寿命化を行いました。

長寿命化対策については、「花巻市農業集落排水施設最適整備構想」に基づき、熊野地区および長根地区の機能強化工事を行いました。

戸別浄化槽事業

1223基の戸別浄化槽の維持管理を行いました。